

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和8年第18週 (ARIのみ第17週) の発生動向

・重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

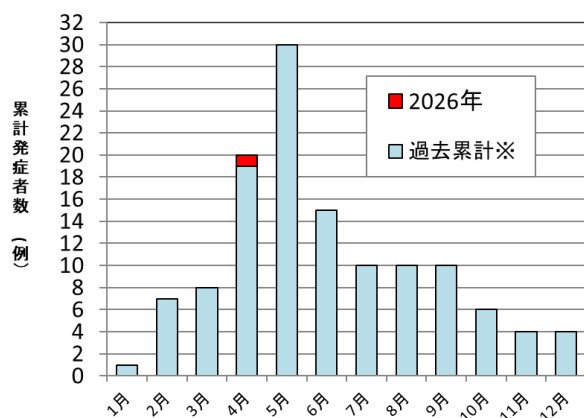
(全数報告の感染症)

宮崎市保健所管内から報告があった。患者は60歳代の男性で、刺し口は確認されなかった。県内での報告は、累計125例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
2	1	2	5
60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
28	47	33	7

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



※2013年3月から2025年まで

□ 全数報告の感染症 (18週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核2例。3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例、レジオネラ症1例。
- 5 類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、梅毒1例、播種性クリプトコックス症1例、百日咳1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		日向	80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱、その他
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	60歳代	男	—	腹痛、下痢、嘔吐、食欲不振、出血傾向
	レジオネラ症	宮崎市	60歳代	女	肺炎型	発熱、咳嗽、下痢、肺炎
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	延岡	80歳代	男	—	ショック、肝不全、腎不全、DIC
	梅毒	高鍋	50歳代	男	早期顕症梅毒I期	鼠径部リンパ節腫脹
	播種性クリプトコックス症	宮崎市	70歳代	女	—	真菌血症
	百日咳	宮崎市	10歳代	男	—	持続する咳、肺炎

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は440人(定点当たり29.0)で、前週比111%と増加した。なお、前週に比べ増加した疾患はRSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎、水痘であった。また、第17週の急性呼吸器感染症の報告総数は1,122人(定点当たり40.1)で、前週比110%と増加した。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は61人(4.1)で、前週比105%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.5)の約1.6倍であった。年齢群別は4歳から7歳が全体の約半数を占めた。

【手足口病】

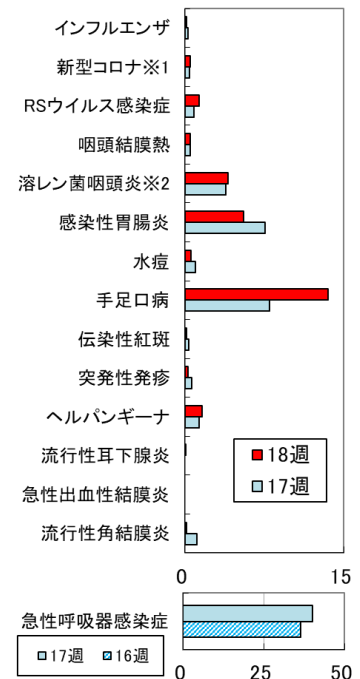
報告数は203人(13.5)で、前週比169%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.8)の約4.8倍であった。年齢群別は6月から2歳が全体の約9割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は83人(5.5)で、前週比73%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(9.2)の約0.6倍であった。年齢群別は1歳が全体の約2割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

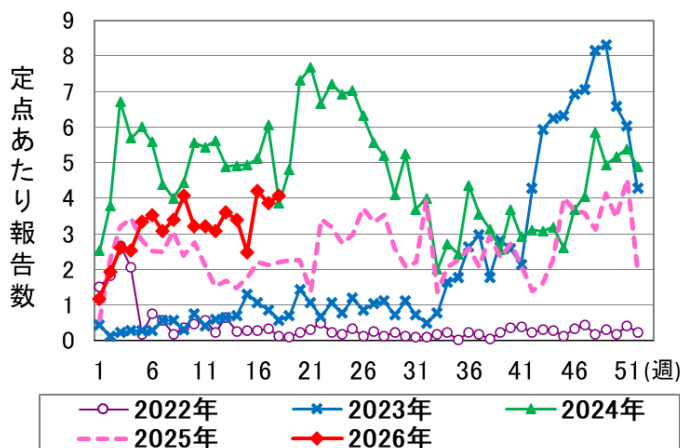
《前週との比較》



定点あたり報告数

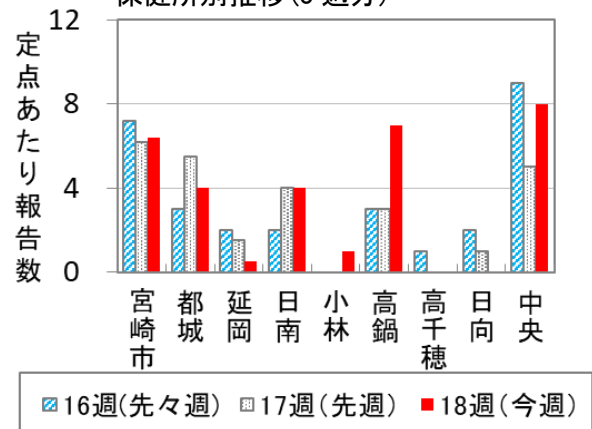
※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況

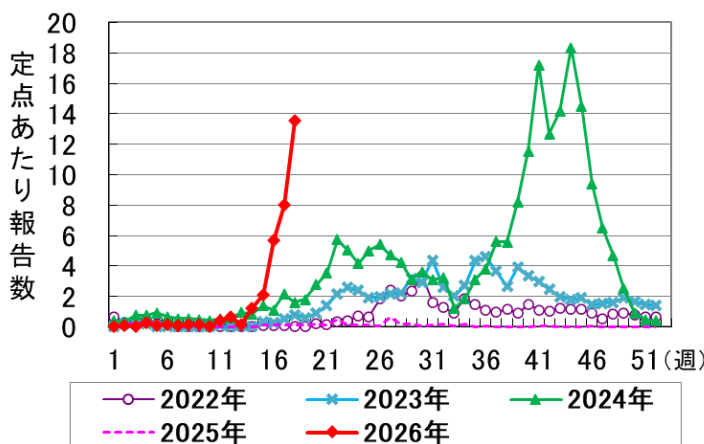


※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)

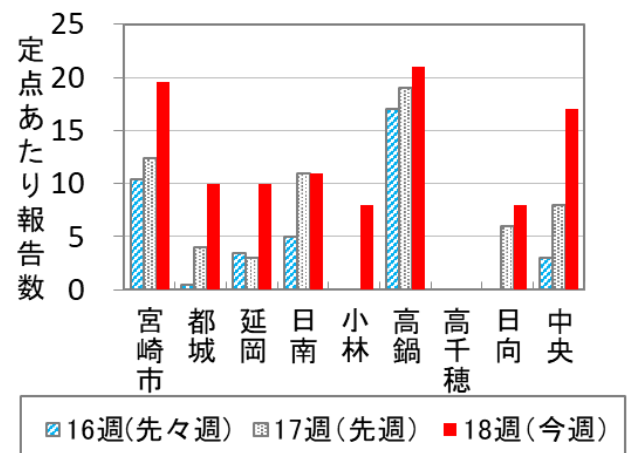


手足口病 発生状況

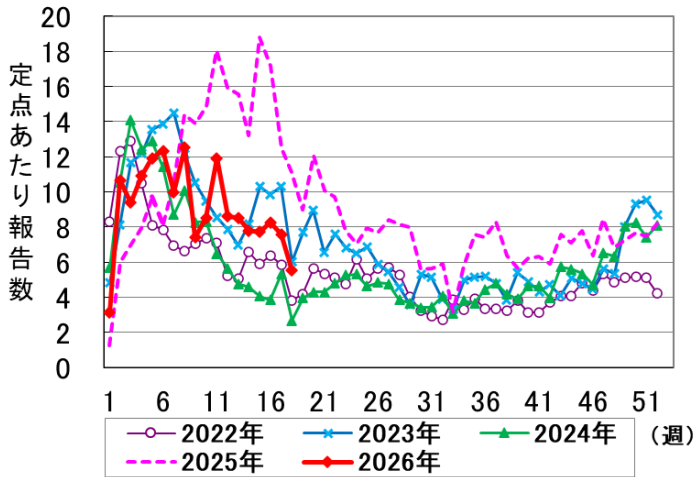


※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

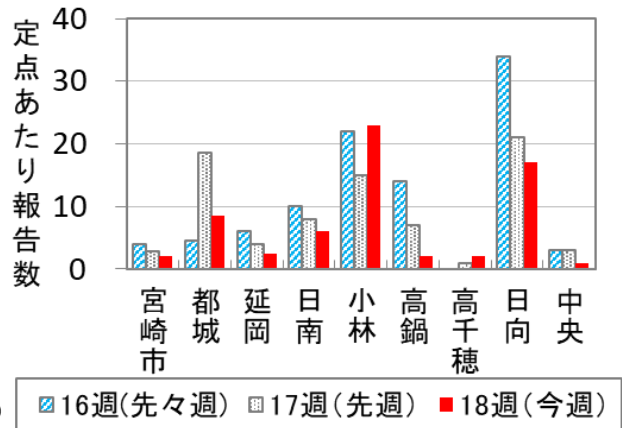
手足口病 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移 (3週分)



※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は2例(定点当たり0.29)で、宮崎市保健所から報告があった。年齢はいずれも5～9歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	手足口病(19.6)
都城	手足口病(10.0)
延岡	手足口病(10.0)
日南	水痘(2.0)、手足口病(11.0)
小林	感染性胃腸炎(23.0)、手足口病(8.0)
高鍋	手足口病(21.0)
高千穂	なし
日向	水痘(1.0)、手足口病(8.0)
中央	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)、水痘(2.0)、手足口病(17.0)、ヘルパンギーナ(8.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・感染性胃腸炎(20)
- ・水痘(2)
- ・手足口病(5)
- ・ヘルパンギーナ(6)

※流行注意報レベル基準値※

- ・水痘(1)
- ※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

✚ 全国 2026 年第 17 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	252 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	50 例		
4類感染症	E型肝炎	18 例	A型肝炎	6 例	エキノコックス症	1 例
	エムボックス	6 例	コクシジオイデス症	1 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例
	つつが虫病	3 例	デング熱	1 例	日本紅斑熱	14 例
	レジオネラ症	29 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	2 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	15 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	18 例	後天性免疫不全症候群	13 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	10 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	40 例	水痘(入院例)	5 例
	多剤耐性緑膿菌感染症	4 例	梅毒	187 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	破傷風	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	105 例
	麻しん	68 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 104%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 113%と増加した。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 7,282 人(3.2)で前週比 109%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.4)の約 1.3 倍であった。鳥取県(7.3)、北海道(6.6)、愛媛県(6.1)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 8 歳が全体の約 6 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 12,073 人(5.4)で前週比 106%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(6.1)の約 0.9 倍であった。島根県(11.9)、鳥取県(10.4)、富山県(9.6)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 3 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015—2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(41定点医療機関)

2026年 第18週(04月27日～05月03日)

疾病名		第17週	第18週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	9	5	1		2						2
	定点当り	0.32	0.18	0.11	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	12	14	13								1
	定点当り	0.43	0.50	1.44	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50
RSウイルス感染症	報告数	13	20	3		5		4			8	
	定点当り	0.87	1.33	0.60	0.00	2.50	0.00	4.00	0.00	0.00	8.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	8	8	5	1		1				1	
	定点当り	0.53	0.53	1.00	0.50	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	58	61	32	8	1	4	1	7			8
	定点当り	3.87	4.07	6.40	4.00	0.50	4.00	1.00	7.00	0.00	0.00	8.00
感染性胃腸炎	報告数	114	83	10	17	5	6	23	2	2	17	1
	定点当り	7.60	5.53	2.00	8.50	2.50	6.00	23.00	2.00	2.00	17.00	1.00
水痘	報告数	15	9	4			2				1	2
	定点当り	1.00	0.60	0.80	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	1.00	2.00
手足口病	報告数	120	203	98	20	20	11	8	21		8	17
	定点当り	8.00	13.53	19.60	10.00	10.00	11.00	8.00	21.00	0.00	8.00	17.00
伝染性紅斑	報告数	6	3	1			1					1
	定点当り	0.40	0.20	0.20	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
突発性発しん	報告数	10	5		1	3		1				
	定点当り	0.67	0.33	0.00	0.50	1.50	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	20	25	6		8	3					8
	定点当り	1.33	1.67	1.20	0.00	4.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	8.00
流行性耳下腺炎	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.07	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	7	1			1						
	定点当り	1.17	0.17	0.00	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数		2	2								
	定点当り	0.00	0.29	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2026年 第17週(04月20日～04月26日)

		第16週	第17週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1016	1122	284	159	120	66	122	90	46	140	95
	定点当り	36.29	40.07	31.56	39.75	40.00	33.00	61.00	45.00	23.00	70.00	47.50

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2026年 第01週～18週 保健所受理分)

2類感染症	結核	48例(2)										
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	12例										
4類感染症	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	1例(1)	つつが虫病	4例						
	日本紅斑熱	5例	レジオネラ症	3例(1)								
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	クリプトスポリジウム症	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	5例(1)						
	後天性免疫不全症候群	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	5例	水痘(入院例)	4例						
	梅毒	19例(1)	播種性クリプトコックス症	3例(1)	破傷風	1例						
	百日咳	33例(1)	麻しん	1例								

()内は今週届出分、再掲